

第1回 男山地域まちづくり連携協定 年次報告会



高層棟からみた男山団地

連携協定の締結に至るまでの経緯



平成17年 男山地域活性化基本構想を策定

平成21年 八幡市住生活基本計画を策定し、団地再生(集約化)に位置付け

平成22年 八幡市男山地域再生庁内検討委員会を設置

平成23年 関西大学は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

集合住宅“団地”の再編(再生・更新)手法に関する技術開発研究を開始

平成24年 まちの課題・チーム型解決事業を活用、まちの仕事人と共に

地域の課題整理を進める

男山地域のまちづくり連携協定の締結

地域とともに元気な暮らしができる、住みたい、住み続けたい男山
を目指し、京都府、八幡市、関西大学、UR都市機構が連携して取組んでいこう！



平成24年 4月 八幡市・京都府・関西大で戦略会議を開催

平成25年 4月 UR都市機構が加わり連携協議会を開催

平成25年10月 男山地域まちづくりに関する連携協定の締結

男山地域のまちづくり連携協定の目的

- (1) 次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくりの導入・確立
- (2) 多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立
- (3) 地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立
- (4) 住民が主役となるまちづくりとして、地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

最初の取組みとしてだんだんテラスを開設



11/16(土)10:00 から開催

だんだんテラス オープニング 大作戦

だんだんテラスオープンの日。
いろいろな催し物を行い、
みなさんと楽しみたいと思います!!!!

詳しい内容は
だんだん
テラス
裏面で!!!

こんにちは！私たちは関西大学の団地再編プロジェクトです。
私たちは、いまある団地を活かしながら、これからもずっと暮らしやすい“まち”へ再編していくことをテーマに研究を行っています。その中で多くの住民の皆さんが、いつでも自由に集える場所を希望されていることがわかりました。そこで、いずれ他大学の学生や住民のみなさんにも参加していただくことを目標として、まずは関西大学の学生が運営し、365日オープンしている、そんな場所を作って、いろいろな方々との意見交換や、その他さまざまなお手伝いをさせていただこうと考えました。最終的には地域で運営できるような、そんな場所にしていければと考えています。実際の活動内容については、今後、住民・商店会の方々と相談させていただきながら、多くの方々に喜んでいただけるようなものにしていきたいと考えています。
11月16日のオープンの日にはいろいろな催し物を計画しています！ぜひ、お立ち寄りください！

開設日: 2013年11月16日

運営: 現在は学生

対象者: 地域住民

日時: 年中無休 (10時-18時)

2014年3月 男山地域再生基本計画の策定

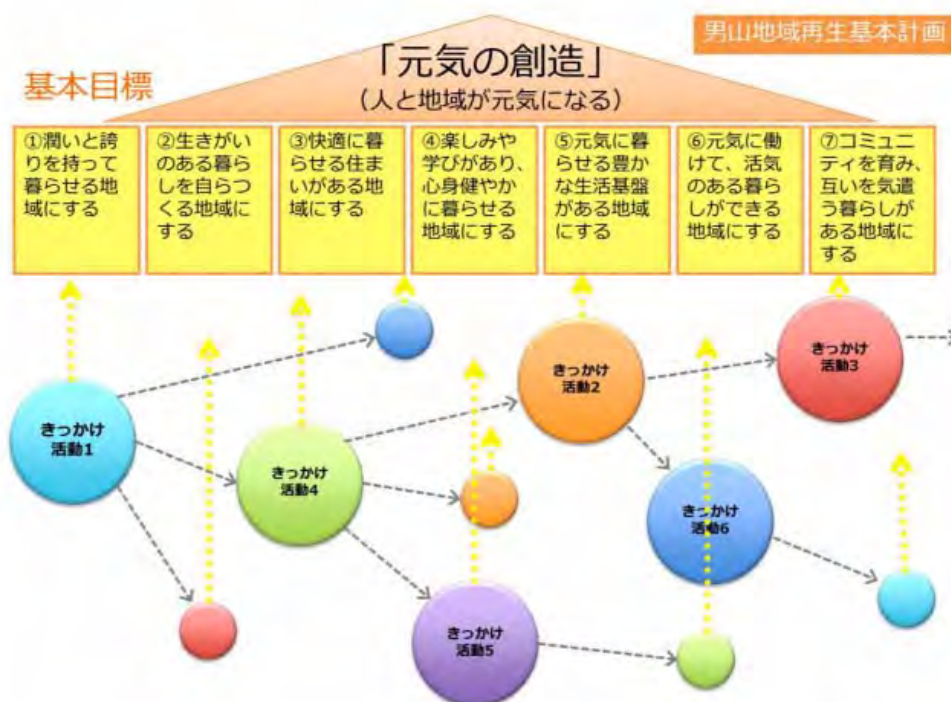
男山の将来目標

地域とともに元気な暮らしができる、
住みたい、住み続けたい男山



2014年3月 男山地域再生基本計画の策定

「元気の創造」を生み出す7つの基本目標と「きっかけ活動」



子育て支援の取組み

(1)次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、
地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくり

子育て支援の取組み



ダンチ de コソダテ in 男山団地

このプロジェクトでは、



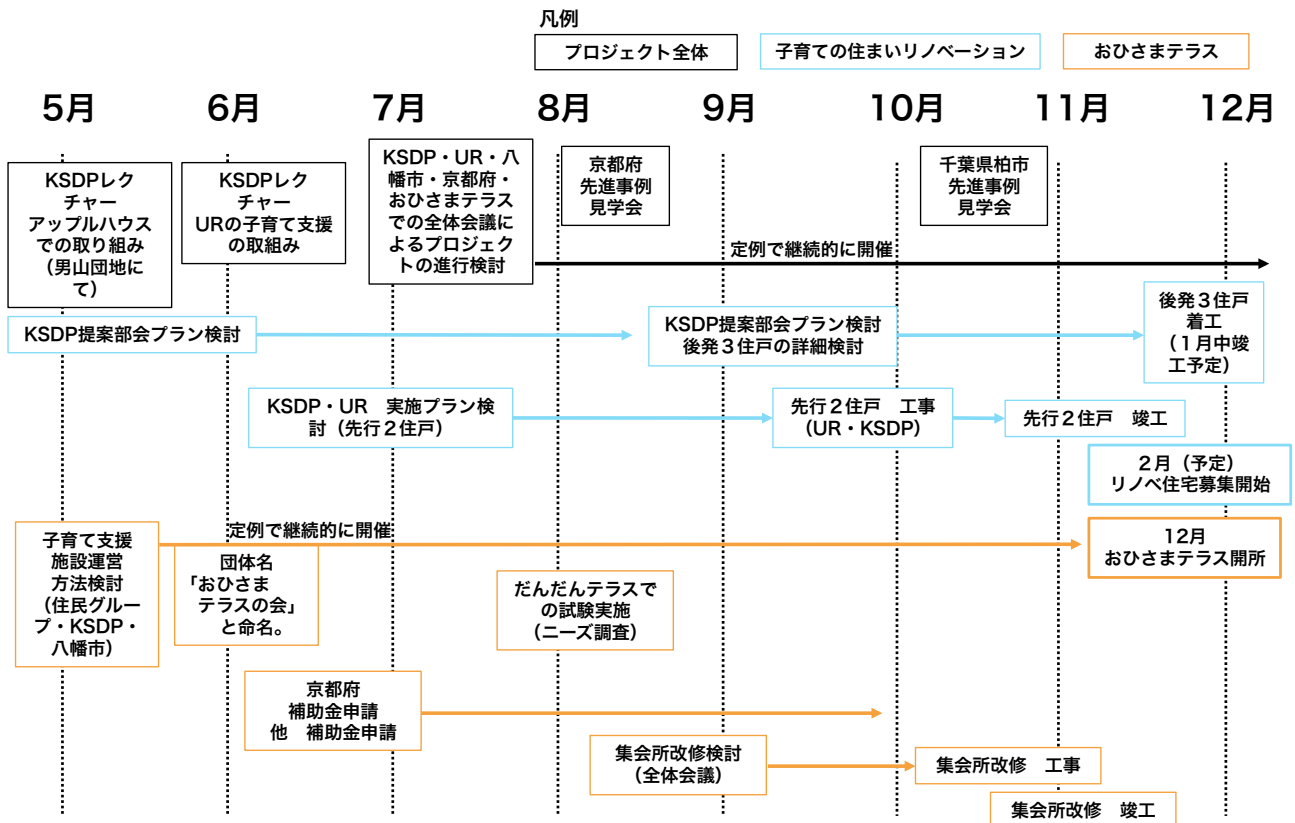
子育て世代向け
「子育ての住まいリノベーション」



地域子育て支援施設
「おひさまテラス」の開設

これら2つの事業を通して、UR男山団地をきっかけとした、まち全体の子育て環境の再編を目指す。

プロジェクトの過程



子育ての住まいリノベーション



子育て世代向け「子育ての住まいリノベーション」
「のびやかに暮らせる団地」

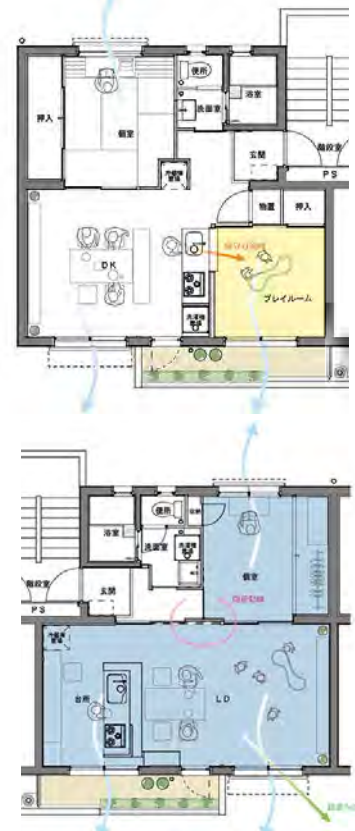
■ のびのびしたプランニング

現状の住宅の魅力である、南北の抜けを意識しながら3つのコンセプトで計画。

- ① 大きな一つの空間を必要に応じて分けれる
- ② 気持ちよく立てるキッチン
- ③ 明るく気持ちのいいサニタリールーム

■ 見守り、感じられるプランニング

「キッチンから見える。」「気配を感じられるひとつながりの空間」など、少し離れた場所に居ても、見守ったり、気配を感じられるような空間構成となるように計画を行いました。



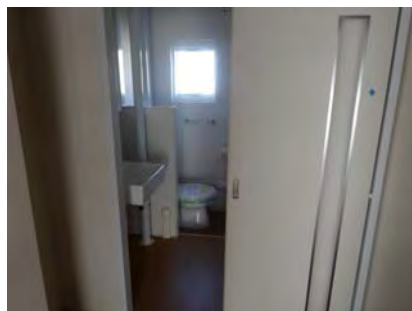
内観写真



○A63号棟-503 のびのびしたプランニング



○A55号棟-404 見守り感じられるプランニング



おひさまテラスの開設



地域子育て支援施設

おひさまテラス

おひさまテラスは、次の2つの事業を柱に運営します。

■ 遊びの広場「おひさまテラス」

■ 一時預かり事業「おひさまテラスファミリーサポート」

また、子育て支援センターとも連携し、地域の子育てママの不安にも応えられる体制づくりを行っています。



遊びの広場

おひさまテラス

こどもと親と一緒に遊ぶ、遊びの広場です。おひさまテラスのプログラムを通して、集団での生活も経験出来る場所づくりを行う予定です

「お昼寝タイム」など独自のプログラムでママのリフレッシュの時間も。また、地域の方も気軽に立ち寄れる場所を目指し、運営します。

一時預かり事業

おひさまテラスファミリーサポート

『就園前にちょっとみんなとの生活体を』そんなパパママのニーズや、『急な冠婚葬祭でどうしても数時間預かって欲しい。』などにも対応します。

ただ、預かるのではなく、子どもの成長の場となるような一時預かり事業を目指し、運営します。

ダンチ de コソダテ in 男山団地



ダンチ de コソダテ in 男山団地

新たなもの、今までにあるもの。
団地全体の環境で、
魅力的に暮らし、子育てする。

プロジェクトでの計画エリア

おひさまテラス

遊びの広場とファミリーサポート

子ども達がはじめて、仲間の中で遊ぶ。そんな姿を見ることが出来る。それが、「おひさまテラス」です。地域の方も気軽に立ち寄れる場所を目指しています。誰でも気軽に遊びに来れる、「遊びの広場」だけでなく、『就園前にちょっとみんなとの生活体験を。』そんなパパママのニーズに応える、一時預かりサービス「ファミリーサポート」があります。

運営：おひさまテラスの会
お問い合わせ：八幡市子育て支援センター ☎ 075-983-8747

場所：日曜
 時間：月・火・金・土
 「遊びの広場」
 10:00～16:00
 「ファミリーサポート」
 10:00～20:00



UR都市機構における子育て支援の取組み

対象の団地・住戸限定

対象の住戸に入居される子育て家族にうれしいお知らせ

最大6年間 家賃を20%割引! (減額上限25,000円)



家賃減額	20%減額 (減額上限 25,000 円)
減額期間	最長 6 年 (入居開始可能日から最長 6 年)
入居要件	次の要件をいずれも満たす方 ・ 扶養している 18 歳未満の親族と同居する方 ・ 世帯所得合計が月 48 万 7 千円以下 (4 人家族で年収約 900 万円以下) の方 ・ UR 賃貸住宅の入居資格を満たす方
減額要件	入居要件に加え、次の要件をいずれも満たす方 ・ 同居者に小学校修了前の子どもがいる方 又は 18 歳未満の子どもが 3 人以上いる方 ・ 世帯所得合計が月 21 万 4 千円以下 (4 人家族で年収約 530 万円以下) の方
その他	毎年資格審査あり 家賃減額について、国の一部補助あり

地域包括ケアの確立

(2)多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で
住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立

地域包括ケア事業実施の経緯

男山地域まちづくり連携協定

平成25年10月25日 京都府知事立ち合いのもと、独立行政法人都市再生機構、関西大学、八幡市において締結

第2条(2)

多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立

第2条(3)

地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団体が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

八幡市高齢者健康福祉計画・介護保険事業計画(第5期)

平成24年度から26年度までの高齢者の福祉、保健、医療、介護保険、生きがいづくりや社会参加、住みやすいまちづくりなど高齢者施策全般にかかる計画

・地域密着型介護老人福祉施設
・高齢者あんしんサポートハウス
・定期巡回・随時対応型訪問介護看護
について、整備等検討

UR男山団地内において

地域包括ケア複合施設の整備へ

- ・多様な高齢者のニーズに対応できる施設
- ・元気高齢者の参画、地域へのサービス提供の場の確保
- ・地域包括ケア推進拠点

社会福祉法人での運営となることから・・・
⇒社会福祉法人若竹福祉会において実施
⇒UR、関西大学、若竹福祉会、八幡市にて協議

地域包括ケア複合施設の概要

登録予定事業	地域包括ケア複合施設(高齢者関連複合施設)	
実施予定法人	社会福祉法人若竹福祉会	
施設内容	地域密着型介護老人福祉施設 (小規模特別養護老人ホーム)	常に介護が必要な方が入所し、入浴や排泄、食事などの日常生活上の支援や、訓練、療養上の世話などを提供する介護保険施設です。
	高齢者あんしんサポートハウス (低所得者向けケアハウス)	要支援や軽介護度の自立生活がやや困難であったり、疾病からの回復期にある所得の低い方が、食事等のサービスを受けながら生活する介護保険施設です。
	短期入所生活介護 (ショートステイ)	在宅の方が短期入所し、入浴や排泄食事などの日常生活上の支援や、機能訓練、療養上の世話などを提供する介護保険サービスです。
	定期巡回・臨時対応型訪問介護看護	在宅生活を送っている方に、日中・夜間を通じて訪問介護(ヘルパー)や訪問看護(看護師)が定期的に巡回する介護保険サービスです。
	多目的ホール	介護予防事業や、地域住民の交流スペースとして活用します。
開設予定時期	平成26年度着工、平成27年秋竣工を予定	

建築概要

敷地概要

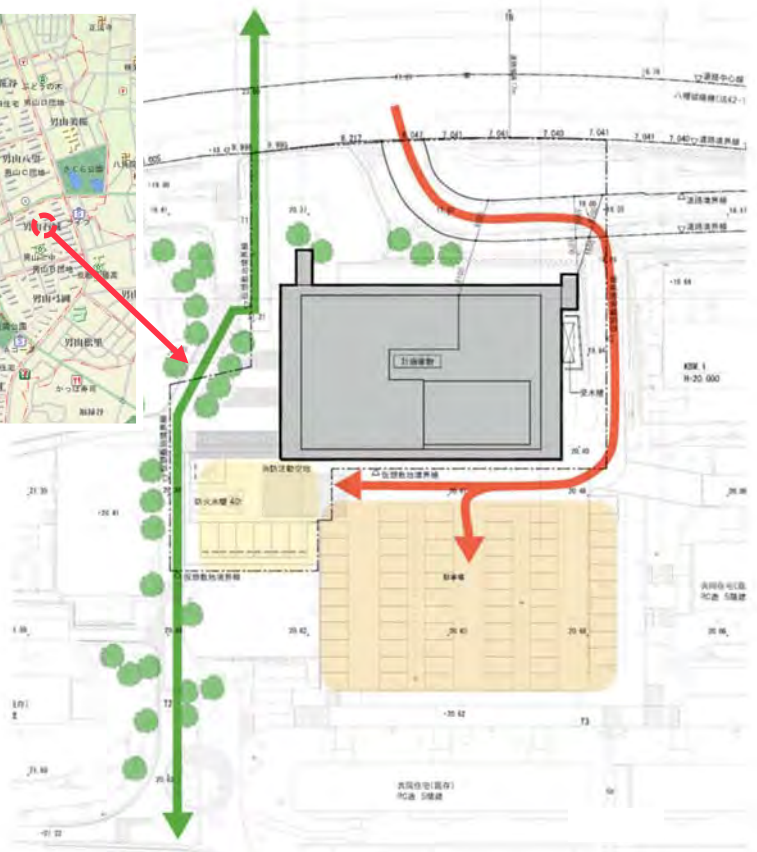
- ・地名地番 京都府八幡市男山石城1番1～3
- ・敷地面積 2,837.89㎡(仮想敷地範囲)
- ・用途地域 第1種中高層住居専用地域
- ・その他地域 法22条地域
第2種高度地区
宅地造成工事規制区域

建物概要

- ・構造 鉄骨造 4階建 耐火建築物
- ・建築面積 約 900㎡
- ・延床面積 約 2,800㎡

用途

- ・1階 地域包括ケア推進拠点
多目的室
ふれあいカフェ
相談室等
管理部門
定期巡回・臨時対応型訪問介護・
看護事業所含む
調理室
- ・2階 高齢者あんしんサポートハウス
2ユニット
- ・3階 地域密着型特別養護老人ホーム
2ユニット
- ・4階 地域密着型特別養護老人ホーム
1ユニット
屋上庭園

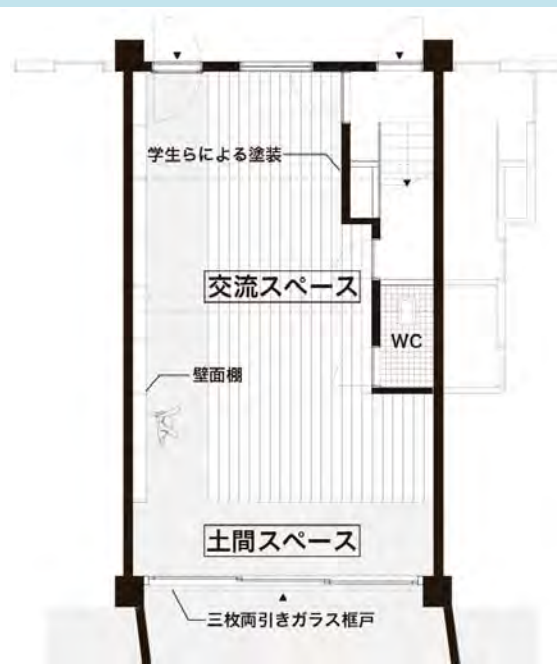


だんだんテラスの取組み

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、
地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

(4) 住民が主役となるまちづくりとして、
地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

365日気軽に集まれるだんだんテラス



開設日：2013年11月16日

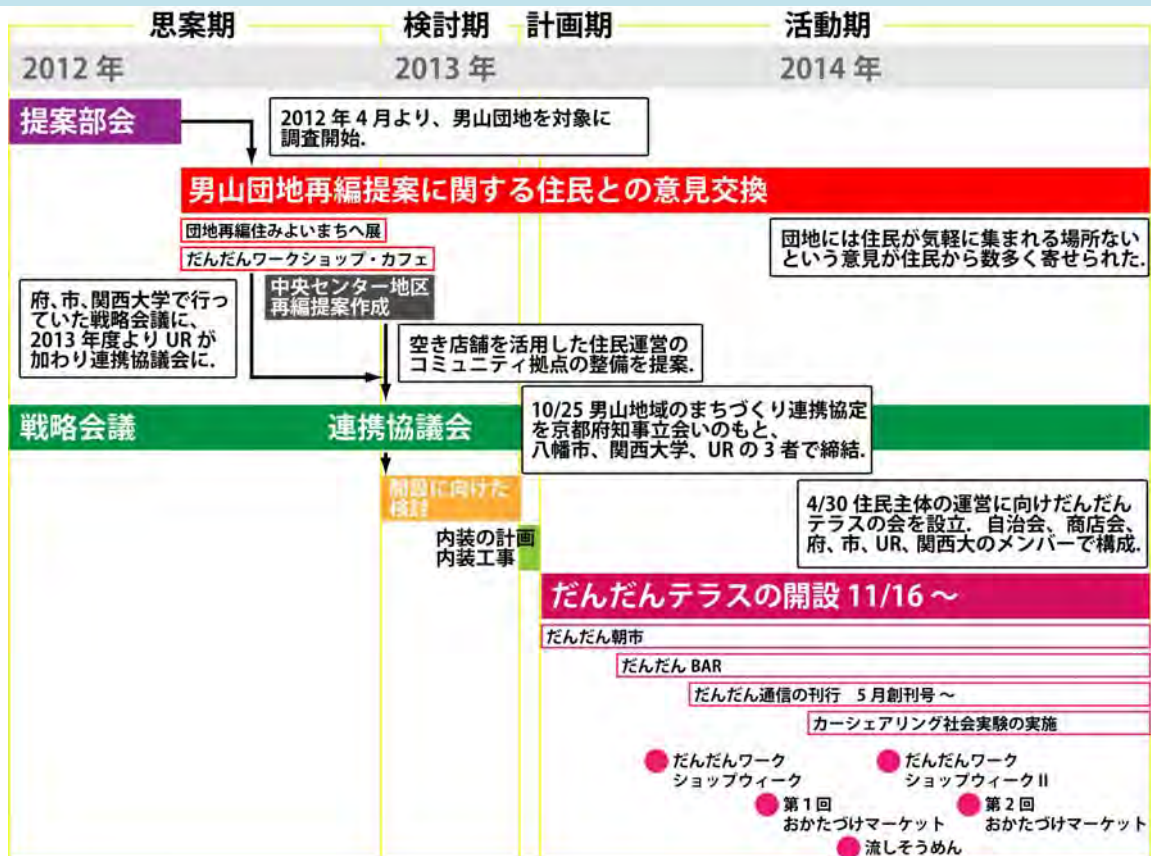
運営：現在は学生

対象者：地域住民

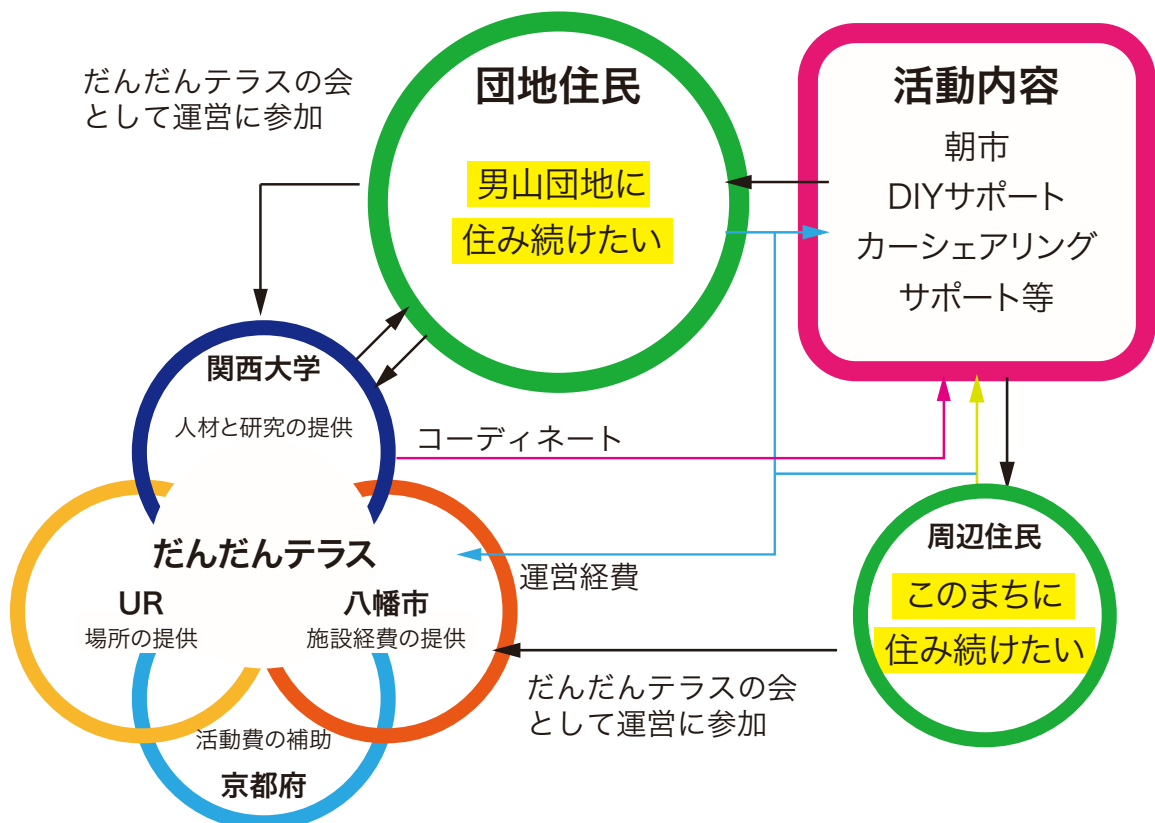
時間：年中無休（10時-18時）

住民が主体となり、自立した運営をめざす

だんだんテラス開設の経緯



だんだんテラス運営の連携体制



2014年4月 だんだんテラスの会を設立

2014年 3月

だんだんテラスの会発足に向けて、
0年目は京都府地域力再生プロジェクト
支援事業の交付金に応募。

2014年 4月

だんだんテラスの会を発足。
現在の会員は、自治会、商店会、
京都府、八幡市、UR、関西大で構成。

2014年 6月

1年目（2014年度）は八幡市からの
補助金を元に、京都府地域力再生
プロジェクト支援事業交付金に応募。

平成 26 年度 だんだんテラスの会 役員名簿

役 職	氏 名	所 属 ・ 職 名
代 表	出町 慎 ※1	関西大学佐治スタジオ・室長
	芦田 康太郎 ※2	関西大学大学院、関西大学団地再編プロジェクト・準研究員
	片岡 由香 ※3	関西大学先端科学技術推進機構・ポストドクトラルフェロー
	倉知 徹 ※3	関西大学先端科学技術推進機構・特任研究員
	武用 権太	八幡市まちづくり推進部都市計画課・課長
	多田 耕治	男山中央センター地区商店会・会長
	田邊 豪二	UR 都市再生機構西日本支社ストック事業推進部
副代表	生川 信雄	男山 C 地区自治会・会長
	藤岡 栄	京都府総務部自治振興課・参事・まちの仕事人、 関西大学団地再編プロジェクト・客員研究員
	松浦 知子 ※2	関西大学大学院、関西大学団地再編プロジェクト・準研究員
会 計	辻村 修太郎	男山地域コーディネーター
監 事	宮崎 篤徳 ※3	関西大学団地再編プロジェクト・ポストドクトラルフェロー
	長谷川 幸保	男山中央センター地区商店会
アドバイザー	荒木 公樹	空間計画株式会社・代表、関西大学団地再編プロジェクト・協力メンバー
	江川 直樹	関西大学環境都市工学部建築学科・教授、関西大学先端科学技術推進機構・地域再生センター長、 関西大学団地再編プロジェクト・代表

五十音順

365日集まれるコミュニティの拠点運営

▼学生が常駐、活動の内容や訪問者との会話等を記録



男山地域のまちづくりに関する情報発信

▼男山団地全戸（分譲・賃貸）にだんだん通信を配布



男山地域のまちづくりに関する情報収集

▼2014年3月・9月にワークショップウィークを開催



男山地域のまちづくりに関する課題解決

▼住戸改修のサポート、住民活動活化等の仕組みづくり



交流の場所



地元農家と協力しているだんだん朝市



朝10時から少し遅めのラジオ体操



普段は来れない層を対象にdang dang BAR



ふらっと人が立ち寄ってお話をする場所

活動の場所



地域団体に会合や講座会場としての利用



オープンな場所で開催される能面教室



府・市が主催する詐欺対策の講座



団地再編プロジェクトの部会

団地・地域について考える場



団地内スロープの塗装の色を考えるぬり絵



部屋の整理整頓を目的としたフリーマーケット



他地域で活動する方を招いたレクチャー



屋外空間の活用を目的とした流しそうめん

様々なワークショップをだんだんテラスで開催

あるく。
かえる。
つなげる。
かたむく。
はぐくむ。
つくる。

だんだん
ワークショップ
ウィーク

かんがえる、うごく 7日間
日時：2014年3月23日(日)～29日(土)
場所：だんだんテラス 京都府八幡市男山八望3-B47-104

365日オープンを目指すだんだんテラスでは常に住民の方と一緒に男山地域の未来について考えていこうと思っています。
7日間連続ワークショップは男山での暮らしを豊かにできるきっかけを探します。
男山地域にお住まいのみなさまのお立ち寄り、ご参加をお待ちしています！

1週間連続ワークショップ



出張だんだんテラス

きっかけ活動WS



Petit DIY見学会

緑道ピクニック

塗装講座

団地全戸配布「だんだん通信」による情報発信

だんだん通信 7月号

だんだん通信 創刊5月号 2014 5月号

だんだん通信は、365日オープンのだんだんテラスで起きている日々のできごとや地域の情報を発信するための通信紙です。

みなさん、だんだんテラスってご存知ですか？

だんだんテラスは、日々の生活や地域の情報を発信するための通信紙です。だんだんテラスは、日々の生活や地域の情報を発信するための通信紙です。

報告 だんだんワークショップウィーク 2014.3.23-29

だんだんテラスで行われた「だんだんワークショップウィーク」計105名の方が参加されました。7つのテーマに沿って多くの意見や要望が寄せられました。

お知らせ

ハガキ絵画展

お気楽歴史講座「八幡の文学碑」

予定

だんだん都市

Dang Dang BAR

ハガキ絵画展

お気楽歴史講座

ねご座談会

だんだん通信 5月号

学生が中心となり表紙写真やコラム等住民参加型で作成している

カーシェアリング社会実験を開始



平成24年に行ったアンケート調査
「自家用車所有・利用実態調査」
「カーシェアリング利用意向調査」

○関西大学とタイムズ株式会社が
協力し、バックヤードで実施

○カーシェアリング利用者に対し
ヒアリング調査を行っている

○だんだんテラスでの入会も可能

居住者の自主的な住戸改善の仕組み



居住者が自主的に住戸の改善を行うことができる仕組みを検討

○意見収集・ワークショップを行う拠点としてDIYラボを期間限定で開設

○収集した住民の意見をもとにセルフリノベーションを想定したモデルルームの開設

○関西大学団地再編プロジェクトと京都府建築士会が協議中

いま男山団地に住むみなさんが現状回復費用ナシで可能な改修についての情報をラボで発信します。

自分たちの住まいを自分たちでつくる。

DIY講座全4回。対象は子どもからお年寄りまで。学生スタッフがお手伝いします。

11月 15日 塗装講座 土曜日 10時～12時 塗装職人さんに来て頂き塗装の仕方、道具の選び方などをレクチャー(申込不要)	22日 椅子づくり講座1 土曜日 10時～12時 2枚の杉の板をノコギリを使って自分の手で切り出して、椅子をつくります。22日と29日の2週にわたる連続講座です。(参加費3000円/定員5名要予約)	29日 椅子づくり講座2 土曜日 10時～12時 2枚の杉の板をノコギリを使って自分の手で切り出して、椅子をつくります。22日と29日の2週にわたる連続講座です。(参加費3000円/定員5名要予約)	12月 7日 クロス貼り講座 日曜日 10時～12時 クロスの貼リ方レクチャー。室内を飾るタペストリーもつくります。(申込不要)
--	---	---	--

問い合わせ、参加申込は無料だんだんテラスカメール dandan.terrace@gmail.com までご連絡下さい。



トップデンハウスは八幡市で創業28年。ちょっとオシャレでカワイイ家を建てて貰ってます。リフォームから新築までお任せのことなら何でも対応します。

代店/西川 明彦 011-777-7772
<https://www.toppdenhouse.com/>



家具町LABは、使う人・作る人がみんな「おのれあるらし」について考える、人と自然の関係、人と人同士の関係を一緒に生み出していく実験場です。

講師/寛永 孝史 011-777-7772
<https://furniturelab.com/>

主催/だんだんテラスの会 協力/独立行政法人UR都市機構西日本支社/トップデンハウス/家具町LAB

健康福祉分野を中心とした男山地域再生プロジェクト

平成26年度絆ネット構築支援事業

□ 趣 旨

地域の高齢者、障害者、児童などの見守り・生活支援を進める上で、地域の様々な団体による連携した活動を横断的に調整・推進する必要があることから、地域における「絆ネット」を構築し、地域福祉の再構築を目指す。

□ 事業概要

各市町村の様々な見守り団体が、絆ネットを推進母体として連携することにより対応できるような、新たな見守り活動事業

【絆ネット】 個々の取組はありながら横断的なつながりが希薄な中、各団体が地域の課題について横断的に調整・推進するためのネットワーク

【絆ネットコーディネーター】 絆ネットにおける地域団体の活動を横断的に調整・推進する。住民活動の育成・支援・組織化を図り、ネットワーク参画団体・機関との連絡・調整を担う。

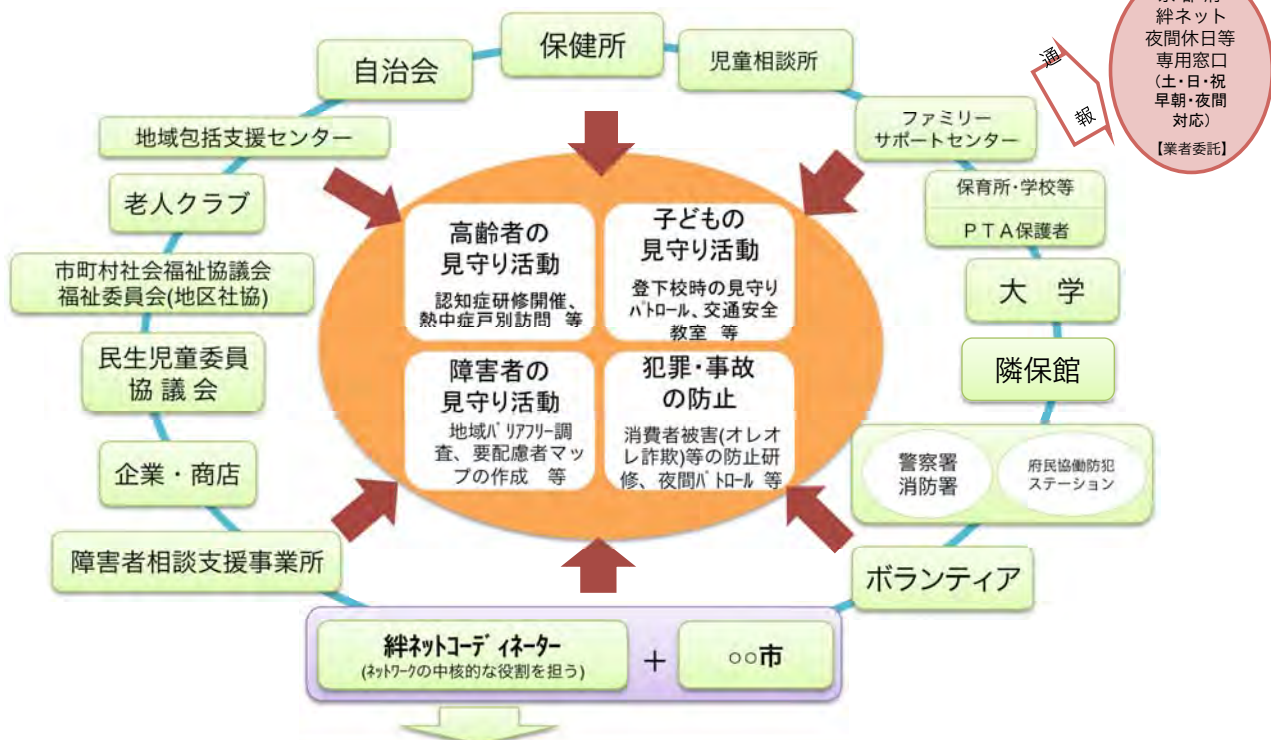
□ ②⑥実施市町村 4市町 (八幡市、宮津市、久御山町、精華町)

□ 府の支援事項

- ・事業推進に係る経費の一部負担
- ・ネットワーク同士の情報交換の場を設置
- ・絆ネットセンター（休日・夜間のコールセンター）の設置
- ・絆ネットコーディネーターの研修
- ・地域の座談会への参加（八幡市）

絆ネットワークのイメージ

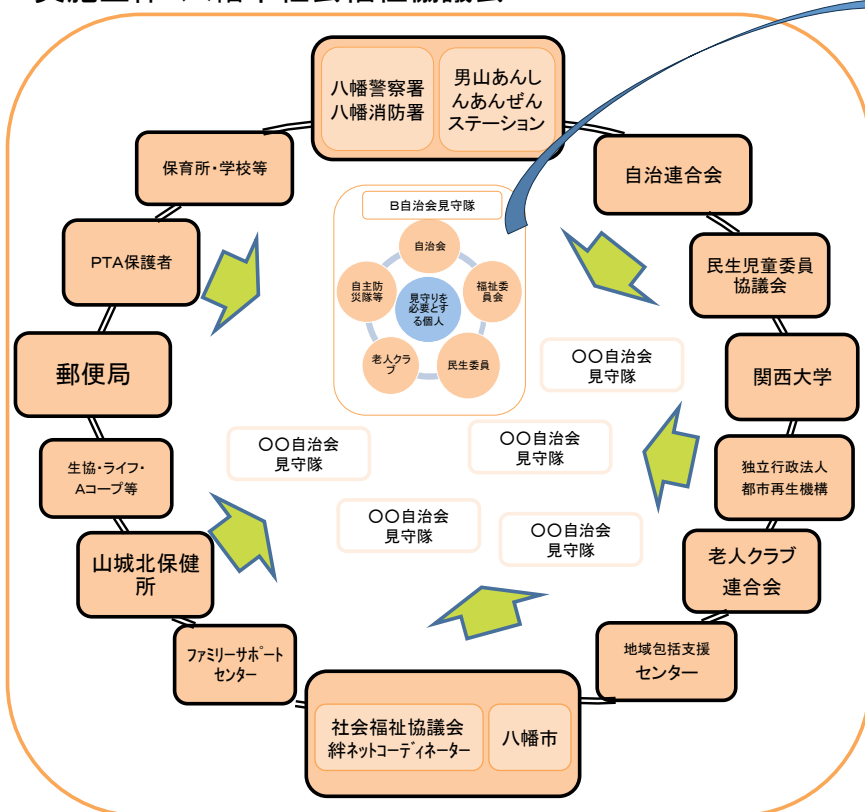
- 地域で地域を見守るシステムの構築 -



※見守り支援チーム：絆ネットコーディネーターをリーダーとした地域課題に直接対応する
地域福祉の専門家をはじめとするメンバーで構成(例：地域包括支援センター職員、その他相談専門員 等)

八幡市における絆ネット構築支援事業の取り組み

実施主体：八幡市社会福祉協議会



小地域での取組の構築
市全域ネットワークへ

○見守り隊事業の構築
(男山団地B地区)
団地の半数を占める世帯数1,400世帯のB地区から構築

協力団体
自治会・福祉委員会・
民生委員・老人会・
子ども会・交番連絡員、
関西大学、UR等

○今後、B地区を始め、男山各地区に同様のネットワークを構築

B地区 → 団地内自治会
全7ヶ所

団地全体の
ネットワークを構築

他市町における絆ネット構築支援事業の取り組み

久御山町

実施主体：久御山町社会福祉協議会

町全域の高齢者ネットワーク構築
対象範囲の拡大

○ 町全体で高齢者を中心に「地域見守りネットワーク事業」を構成

事業者・ふくろう隊員(ボランティア)等が日常で異変に気づいた時に社協へ連絡

▶ 社協が状況確認・対応
▶ さりげない見守り

見守り活動に協力している事業
(宅配事業者、ガス・電気事業、郵便局等)

66事業者

ふくろう隊員
(地域住民主体の見守りボランティア)
388名

○ 今後、高齢者だけでなく、子ども・防犯に対象を拡大

宮津市

実施主体：宮津市(地域包括支援センター)

市全域の高齢者ネットワーク構築
対象範囲の拡大

○ 高齢者を中心にした「宮津市高齢者等見守りネットワーク」を開始

地域住民や事業者等が日常で異変に気づいた場合、市へ連絡

▶ 市が状況確認・対応
▶ さりげない見守り

見守り活動に協力している団体
(自治会、警察、老人クラブ、商工会議所等)
43団体

見守り活動に協力している事業
(郵便局、JA、宅配業者等)
137事業者

「宮津市高齢者等SOS(徘徊)ネットワーク」
徘徊の心配がある高齢者等が行方不明
→ 地域の支援を得て早期に発見

○ 今後、自治会・不動産等の団体・企業へ、さらなる事業の拡大

精華町

実施主体：精華町社会福祉協議会

小地域での取組の見直し・構築
町全域ネットワークへ

○ 「小地域福祉委員会」と「まちの福祉サポート店」の連携

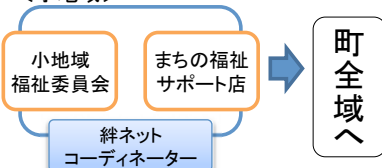
小地域福祉委員会
15ヶ所

自治会・民生委員・老人クラブ等、地域の見守り団体が参加し、地域の見守り活動を実施

まちの福祉サポート店 108店舗

買い物などの日常生活で困っている方を支援するため、見守り活動の協力を賛同した店舗

<小地域>



○ 今後、小地域でのネットワーク構築を経て、町全域のネットワークへ拡大

男山地域 安心・安全によるコミュニティ 創造プロジェクト

男山地域 安心・安全によるコミュニティ創造プロジェクト

ミ ッ シ ョ ン

男山地域再生プロジェクトの理念に基づき、男山地域において、犯罪や青少年の健全育成及び非行防止、消費者被害の未然防止、火災や地震等の災害発生時の初期対応など、安心・安全対策を総合的に展開するとともに、地域内での自治会やNPOによる地域活動を活発にし、新しい形のコミュニティの創造をめざす。

男山地域 安心・安全によるコミュニティ創造プロジェクト

メンバー

だんだんテラスの会、関西大学団地再編プロジェクト、UR、八幡市（政策推進部政策推進課・市民協働推進課・総務部防災安全課、環境経済部商工観光課、まちづくり推進部都市計画課、都市管理部道路河川課、教育部社会教育課・学校教育課）、京都府警（生活安全部少年課・生活安全課、八幡警察署）、京都府（府民生活部防災・原子力安全課、消防安全課、府民力推進課、青少年課、安心・安全まちづくり推進課、消費生活安全センター、総務部自治振興課、健康福祉部介護・地域福祉課、高齢者支援課、山城広域振興局企画振興室）



安心・安全コミュニティ創造プロジェクト打合せの様子

これまでの経緯

平成26年2月 関西大学団地再編プロジェクト、UR、八幡市、京都府警、京都府での進め方、
～5月 地域の課題・10年後の理想の姿を実現するための施策、施策の優先順位
付けについて、ワークショップ形式で議論
平成26年5月 本プロジェクトの今後3年間の活動計画の決定（平成26～27年度）
平成26年5月 ～各主体による事業の実施

男山地域 安心・安全によるコミュニティ創造プロジェクト

10年後の理想の男山の姿

- ・子どもと大人が盛んに交流
- ・子どもの居場所があり、
活き活き暮らしている
- ・地域で子どもや高齢者を見守る
- ・若い世代と高齢者が住み続けるまち
- ・犯罪がない、みんなで防犯
- ・花が咲き誇るまち
- ・商店や働ける場所がたくさんある
- ・自治会やNPO活動が盛ん
- ・住民同士の交流が盛ん

今年度の主な活動

- 自治会加入を促すリーフレットや自治会活動ガイドブックの作成と配付
 - 京都府、八幡市の共催による消費生活出前講座の開催（8月、11月、年明け）
 - 地域力再生交付金によるだんだんテラスの会や子育て支援団体への活動支援
 - 男山あんしん・あんぜんステーションを核とした防犯パトロール等の実施（第1回を10/15実施）
 - まちの公共員を11/4配置
- ＜公共員の予定活動＞
新しい地域活動を生み出すための、
「まちづくり井戸端会議」の開催
コミュニティビジネスを生み出す仕組みづくり
だんだんテラスを、地域住民の自主的な運営に移行する仕組みづくり



10/15 防犯パトロール



8/28 消費生活出前講座

今後検討していく活動

- 子どもたちの居場所づくり
- 住民による男山フェスティバルの開催
- 市民農園の開園と収穫祭の開催
- 新しく起業する女性や高齢者向けワーキングルーム
- NPOのシェアハウス など

2年目の展望

■ 子育て支援の取り組み

- ・ 子育て支援活動の運営開始
- ・ 入居者参加型の子育ての住まいリノベーションの実施

■ 地域包括ケアの確立

- ・ 地域包括ケア複合施設の開設
- ・ 多目的ホールを活用した活動

■ だんだんテラス

- ・ 居住者の自主的な住戸内改善の積極的なサポート活動
- ・ 住民主体の自立した運営組織へ

■ 健康福祉分野を中心とした男山地域再生プロジェクト

- ・ 男山地区全自治会（7自治会）での見守り隊の編成
- ・ 見守り隊を中心に地元企業・商店等と連携したネットワークの構築

■ 男山地域 安心・安全によるコミュニティ創造プロジェクト

- ・ 防犯、非行防止、消費生活の被害防止等、地域の安心・安全を確保する活動の継続
- ・ 公共員を中心とした地域住民による公共的な活動の創出とその支援

男山地域の情報発信

■ だんだんテラス facebook

■ 関西大学戦略的研究基盤団地再編プロジェクト(KSDP内サイト)

<http://ksdp.jimdo.com/トップページ/男山地域まちづくり①/>

<http://ksdp.jimdo.com/トップページ/男山地域まちづくり②/>

■ UR男山団地（特設サイト）

http://www.ur-net.go.jp/kansai/otokoyama_danchi/

■ UR男山団地（住宅情報）

<http://www.ur-net.go.jp/kansai-akiya/kyoto1840.html>